

ランチョンセミナー 4 【LS4】

日時：2026年4月9日(木) 12:20~13:20

会場：Room 4 409+410 (福岡国際会議場)

4月9日(木)

第130回日本眼科学会総会 共催セミナー

眼表面治療は どこまで進化したか

角膜上皮幹細胞疲弊症に対する再生医療戦略

2026年

4月9日(木)

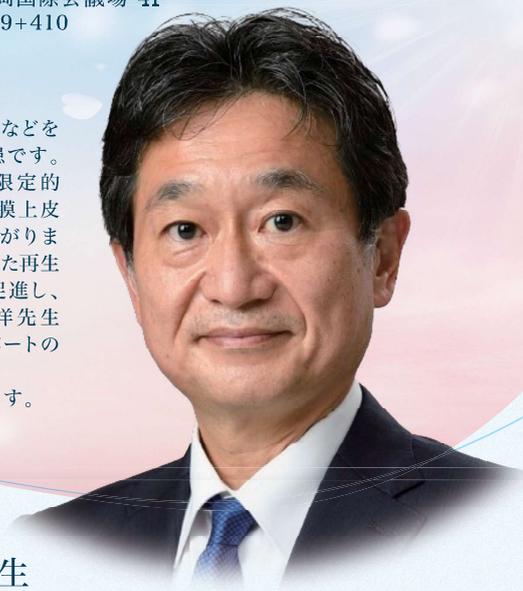
会場

Room 4

福岡国際会議場 4F
409+410

12:20~13:20

角膜上皮幹細胞疲弊症(LSCD)は、熱・化学外傷やSJS、眼類天疱瘡などを原因とし、結膜侵入に伴う角膜混濁や重度の癒着を来す難治性疾患です。従来の治療では、癒着を有する症例への有効な治療法は極めて限定的でした。こうした中、2022年9月に保険適用となった自家培養口腔粘膜上皮細胞シート「サクラシー」の登場により、治療の選択肢はさらに広がりました。本品は、患者自身の口腔粘膜上皮細胞をヒト羊膜基質上で培養した再生医療等製品です。癒着組織除去後の眼表面に移植することで、上皮化を促進し、眼表面の癒着の軽減が期待されています。本セミナーでは、江口洋先生(近畿大学)と臼井智彦先生(国際医療福祉大学)のお二人のエキスパートの先生方から、それぞれの施設における自験例をご紹介します。ご多忙の折とは存じますが、多くの先生方のご参加をお待ちしております。



座長

東邦大学

堀 裕一 先生

講演 I

近畿大学
2症例における1年成績近畿大学
江口 洋先生

講演 II

サクラシーの
自験例国際医療福祉大学
臼井 智彦先生